



恵泉女学園 「花と平和のミュージアム」ニュースレター 第2号



Photos by Keisen Wild Rose Garden

ミュージアムの活動について

学園長・花と平和のミュージアム館長 中山洋司

花と平和のミュージアムは、「恵泉教育の礎となった教育資源の継承・研究・教育成果の発信」と「広く平和を求める人たちの交流処となる活動」を目的に歩んで、二年近くを経ました。現在は、「教育資料等の保管」と「皆様に活用していただくこと」を念頭に活動しております。その概略を紹介します。

教育資料等の保管

教育資料の保管は、主に次の三点で取組んでいます。

一点目は、創立者河井道先生と学園の歴史に関わる資料の整理と保管です。詳細は、「恵泉女学園史料室所蔵資料目録(その1・2)」に記載しておりますが、史料室では、今年度中に(その3)を発行すべき努力をしております。

二点目は、園芸図書に関する資料の保管です。現在『本草図譜』等の貴重な古典籍、雑誌『実際園芸』の創刊号からの集積、その他園芸に関する貴重な文献や書物等の保管です。

三点目は、平和に関する貴重な資料です。写真家福島菊次郎氏の解説付き写真パネル、日本のハンセン病を研究された荒井英子氏の調査メモを含めた貴重な研究資料、『エビと日本人』の著者であり、南北問題の第一人者であられた村井吉敬氏の研究資料等です。

広く皆様に活用していただく

「花と平和のミュージアム」で保管しています資料等は皆様のお役に立つようにと、資料閲覧や貸出そして見学もできるようにと努めております。ご利用希望の方は、大学ホームページの「花と平和のミュージアム」をお開きのうえ、お問い合わせください。

今年度は、学外での移動展、学内資料展示、キャンパスツアーへの参加、ボランティア養成講座、資料貸出、案内板の設置等をしてきましたが、今後とも皆様にご利用いただき、ご研究や学びの一助にいただければ幸いです。

私共は、学園にある小さな花壇一つにも、恵泉の教育と歴史が潜んでいると捉えています。さらに恵泉が培ってきた教育とその歴史を掘り起こし、未来の教育に連なる礎として、皆様のさらなるお役に立たせていただけたら幸いです。

「花と平和のミュージアム」活動記録

2016年

3月

「ミル・シル・オイシイエビカニ展」(栃木県立博物館 3月1日~6月19日)に写真データを提供。

3月15日 ミュージアムボランティアガイド養成講座「今さら聞けない河井道」実施。

(世田谷キャンパス 講師 松井弘子史料室員)

3月26日 シンポジウム「『小さな民』から安保法制と『積極的平和主義』を考える。」(後援)「村井吉敬資料」の一部と目録を公開。

4月

「角田葉子ボタニカルアート移動展」多摩市立グリーンライブセンター(GLC)にて開始。「テッポウユリ」展示。

「角田葉子ボタニカルアート移動展@世田谷キャンパス」

理科と園芸の授業に合わせ「ノイバラ」と下絵を展示。

(4月18日~5月12日)

「Will: 意志、遺言、そして未来—報道写真家・福島菊次郎」

(立命館大学国際平和ミュージアム 4月23日~5月29日)(協力)

5月

「角田葉子ボタニカルアート移動展」(GLC)「ベニドウダン」展示。

一色義子先生関係資料整理(進行中)。

5月26日「恵泉高校多摩キャンパスツアー」において 希望者対象に「河井道」

「ブチ展示」と和室公開を実施。

5月28日 スプリングフェスティバル

「一色邸お茶室案内ツアー」(26日の和室公開展示と同内容)

「福島菊次郎写真展 ~未来のための種であれ~」

6月

「角田葉子ボタニカルアート移動展」(GLC)「タチバナ」展示。

「角田葉子ボタニカルアート移動展@世田谷キャンパス」

「テッポウユリ」を展示。(6月11日~7月9日)

福島菊次郎写真パネル用棚設置。(南野キャンパス倉庫内)

6月25日「福島菊次郎追悼写真展」(府中グリーンプラザ)(協力)

7月

7月8日 南野キャンパスに標識を設置。

「角田葉子ボタニカルアート移動展」(GLC)「ノナハショウブ」展示。



★3月26日のシンポジウムでは「村井吉敬資料」の一部と目録も公開しました。



★「一色邸お茶室案内ツアー」5月28日のスプリングフェスティバルでは、昨年南野キャンパスの和室に移築された一色邸の茶室を公開するとともに、河井先生の使用した当時のトランクやワンピース、靴などを展示しました。午前と午後の2回のツアーで合計約50人の方々が来場され、中高教員原嶋夕佳先生の解説に耳を傾けました。



南野キャンパス2016年5月ごろ

企画展案内

角田葉子「ボタニカルアート」作品展（園芸文化研究所共催）



4月テッポウユリ



6月タチバナ



7月ノハナショウブ



1月(2017年)ヒメサザンカ

移動展 国内外で活躍中の植物画家角田葉子氏のボタニカルアート作品の原画を多摩市立グリーンライブセンター施設内に展示する移動展が2016年4月からはじまりました。

この移動展はその季節にふさわしい作品を月ごとに1点ずつ展示し、全12点の作品を2017年3月まで継続的に展示します。

展示作品は大学の園芸文化研究所の紀要論文集『園芸文化』の毎号の表紙のために角田氏が一点ずつ描いた原画です。

期間 2016年4月～2017年3月

場所 多摩市立グリーンライブセンター

[\(http://www.keisen.ac.jp/tglc/\)](http://www.keisen.ac.jp/tglc/)

(京王線・小田急線・多摩都市モノレールの多摩センター駅より徒歩7分)

恵泉祭での展示 さらに11月5日、6日に恵泉女学園大学で開催される「恵泉祭」では、この12作品全てが一室に会し展示される予定です。角田氏が指導をされている恵泉女学園大学公開講座の受講生のボタニカルアート作品も展示される予定です。美しい作品の数々を近くからご覧になれます。

なお、6日にゲストを迎えたトークショーを企画しています。こちらもぜひご来場ください。詳細は後日お知らせいたします。

期間 2016年11月5日～6日

場所 南野キャンパス ラーニングcommons

☆トークショー 11月6日 10:30～12:30 J202教室

恵泉祭企画展のご案内

「ボタニカルアート展」とともに以下の企画展も予定しています。

福島菊次郎写真展

期間 11月5日～6日

場所 南野キャンパス ラーニングcommons周辺

反骨の写真家・福島菊次郎。戦後、一貫して“ニッポンの嘘”を写してきました。彼が写したのは社会に埋もれた微かな声でした。恵泉祭では、彼が遺した写真の一部を展示します。

その小さな声に耳を傾けてみませんか。

河井道展示

期間 11月5日～6日

場所 南野キャンパス和室

恵泉女学園の創立者河井道が使用した旅行用トランクや衣服、靴などを当時のままにご覧になれる貴重な機会です。昨年移築された一色邸の茶室の当時の雰囲気の中でご覧になれます。

「学園の応接間」とも呼ばれていた和室で恵泉の歴史をゆっくりと感じてください。



グリーンライブセンターでの展示の様子

角田葉子略歴

かくたようこ、植物画家、お茶の水女子大学卒、太田洋愛氏に師事、日本ボタニカルアート協会会員。米国ハント植物画協会展展示、英国RHSフラワーショー「シルバーギルトメダル」受賞。Best Botanical Artist BBC Gardener's World Live 2003トロフィー賞を受賞。英国キュー植物園機関誌『カーチス・ボタニカルマガジン』に、挿絵を掲載。